

仕事の意義、楽しさ、社会人としてのマナーを考える

開倫塾

塾長 林 明夫

1. はじめに

- (1)おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
- (2)先週、埼玉県入間市にある入間市立藤沢中学校に招かれ、中学2年生に「仕事の意義、楽しさ、社会人としてのマナーを考える」というテーマでお話をさせていただきました。
- (3)東京にある経済団体の1つである経済同友会から6名のメンバーが出張授業の講師として招かれ、総合学習の時間に2年生と3年生の合計6クラスでそれぞれ一人ずつ授業をさせていただきました。私はその中の一人として、2年3組の生徒たちの前でお話をさせていただきました。
- (4)先ほどもお話ししましたが、学校から与えられたテーマは「仕事の意義、楽しさ、社会人としてのマナーを考える」で、生きがいのある人生を仕事の面で目指すにはどうしたらよいかというお話をしてほしいというご依頼でしたので、私は次のようなお話をさせていただきました。

2. 仕事の意義、楽しさ、社会人としてのマナーを考える

- (1) 私は、仕事の意義とは仕事の意味のことではないかと思いました。仕事の意味を考えるには、何のために仕事をするのか・何のために働くのかをとらえなければならないと思いましたので、まず「何のために人は働くのか」というお話から始めました。

ILO(国際労働機関)という国連(国際連合)の専門機関では、10年来 Decent Work(ディーセント・ワーク)という考え方で、仕事とは何かを考えています。英語で恐縮ですが、Decentとは「きちんとした」という意味です。そこで、日本では Decent Work を「人間らしい、やりがいのある仕事」という意味でとらえています。

では、「人間らしい、やりがいのある仕事」とはどのようなもののでしょうか。具体的にいうと2つあります。1つは、生活できるだけの収入が得られる仕事です。せっかく仕事をするからには、生活できるだけの収入が得られたほうがいいですね。もう1つは、仕事を通して自己実現できる仕事です。これは、「今日は仕事できてよかったなあ」と仕事をして満足できる、仕事を通して生きていてよかったと自己実現できる仕事のことではないかと思います。

この 2 つが、「人間らしい、やりがいのある仕事」、ILO が言うところの Decent Work ではないかと思えます。

- (2) ただし、問題は仕事の中身・内容です。すべての仕事には、製品やサービスなどを提供するお客様がいらっしゃいます。公務員の方にも、納税者という国民・都道府県民・市民・町民・村民などのお客様がいらっしゃいます。お客様は何のために仕事をする方たちにお金を払うのかというと、お客様の問題を解決して下さるからです。

その場にボーッと存在しているだけではお客様の問題を解決できませんから、仕事をしたことにはなりません。ですから、お客様にお金を払っていただくこともできません。それに加えて、世の中には競争というものがありますから、ボーッと存在しているだけでは、お客様に別な製品やサービスなどを買われてしまいます。

公務員の世界には競争などないのではないかと思いがちですが、そんなことはありません。

税金ばかりとって、公務員の方たちの提供する公共サービスの質が他の地域より低ければ、住民の方たちに他の地域に移られてしまうからです。

このように、お客様の問題解決になり、他との競争に負けない製品やサービスなどを提供してはじめて仕事をしたといえる、結果を出してはじめて仕事をしたといえると私は考えます。

- (3) 仕事をする上で求められるのは、お客様の問題、つまりお客様が困っていることを知ることです。

また、他との競争に打ち勝つことです。面倒な競争はないほうがよいと考える方もいるかもしれませんが。

しかし、お客様にとっては 1 つの製品やサービスだけが提供されるよりも複数のものから選べたほうが幸せであると思えます。選べるものがないよりは、選べるものが複数あったほうがよいのです。ただ、お金があまりにもかかる場合は 1 つしか選べませんが、それでも少しでも質が高いほうがよいわけです。

このように仕事をする上では、お客様から選ばれるにはどうしたらよいかという難しい問題を考えなければなりません。

- (4) では、仕事の楽しさとは何でしょうか。それは、お客様の問題解決のお役に立つことで世の中のお役に立つことだと思います。お客様の問題解決に役立つととても喜ばれます。それが、ひいては世の中のお役に立つわけですから、これが仕事の楽しさではないかと思えます。

また、他との競争に勝たないまでも、負けないように仕事の仕方を創意工夫して、お客様に

とってよりよいものを提供することも仕事の楽しさであると思います。

お客様にとってよりよいものとは、例えば今は景気が非常に悪いですから少しでも安いものを提供することかもしれません。買いやすい価格であること、加えて、便利なところで製品やサービスを提供できること、広告宣伝つまりコミュニケーションをよくして仕事の内容をわかりやすく親しみをもって伝えることも大事であると思います。このようにして、お客様の幸せや社会の発展のためによりよい仕事をする 것도、仕事の楽しさであると思います。

それから、同じ職場で仕事をする仲間との触れ合いや、仕事に協力していただけるビジネスパートナーの方々との触れ合いも、仕事の楽しさであり、喜びであります。

4. おわりに

(1) 以上のような内容のお話を、先週の水曜日 2 月 10 日に埼玉県の入間市立藤沢中学校の 2 年 3 組の皆さんにいたしました。

(2) 放送をお聴きの皆様も、お子さんたちに「仕事の意義や楽しさ」についてぜひお話していただきたいと思います。そうすると学習の動機づけになると思いますので、よろしく願いいたします。

- 2010 年 11 月 18 日 林明夫記 -